



～学びの支援ボランティア～

令和3年度「どさんこ」利用実績



学びの支援ボランティア「どさんこ」は、自らの知識・技術・特技を生かし、ボランティア講師として学習の機会を提供する取り組みです。令和3年度は38件の利用があり、延べ466人が参加しました。

「どさんこ」には、今回紹介するほかにもさまざまなジャンルの講師が登録されており、25件のメニューがあります。学習会やグループ活動、団体・町内会の研修など、3人以上集まれば利用することができますので、気軽に相談してください。

令和3年度の活動内容の一部を紹介します

①アイスブレイク・レクリエーション (講師：平賀勝磨さん)



中高生が対象である「しらぬかジュニアボランティア」の学習会では、子どもや大人たちと関わるために必要なスキルを学ぶため、アイスブレイクやレクリエーションを実際に行いながら学びました。

②ふまねっと (講師：鈴木麗子さんほか)



保健センターや西庶路コミュニティセンターでの活動など、ふまねっとを通じた参加者同士の交流を行い、健康体操なども交え体を動かしながら楽しく交流しました。

③折り紙 (講師：佐々木真美さん)



町の高齢者大学（白洋大学）では「折り紙で作るクリスマス飾りと鍋敷き」を実施。参加者は色とりどりの折り紙で作品を作り、お互いに作品を見せ合うなど交流を楽しみました。

令和3年度利用状況

- ・ 漁師の出前授業（加藤崇さん）2件、48人
- ・ アイスブレイク・レクリエーション（平賀勝磨さん）1件、3人
- ・ 折り紙（佐々木真美さん）3件、39人
- ・ 自然散策（鳴海聖浩さん）2件、52人
- ・ ふまねっと（鈴木麗子さん、浅見あけみさんほか）31件、324人

◎「どさんこ」講師を募集しています

教育委員会では、学びの支援ボランティアとして講師をしていただける方を募集しています。

あなたの知識や技術、特技を生かしてみませんか。資格などは必要ありません。ぜひ、教育委員会社会教育課までご連絡ください。「どさんこ」を利用される方からの連絡もお待ちしております。

問合せ／教育委員会社会教育課 ☎ 2-2287